

いわき農林水産ニュース

平成30年12月号(第166号) 発行 12月27日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



県オリジナル品種の「ふくはる香」。「ふくしまの春の息吹と甘い香りを届けたい」という思いが込められています。

目次

- ・【特集】平成30年の6大ニュース! ……p.1
- 〔各種取組の実績(11~12月)〕 ……p.4~
- 〔お知らせ・連載記事〕
- ・頑張るいわきの農業関係者リレーインタビュー…p.6
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果…p.8
- ・農業用ハウスをご利用の皆様へ…p.8
- ・イベント情報…p.9
- ・田んぼの学校(最終回)…p.10
- ・GAP コーナー…p.11
- ・6次化商品紹介…p.12

【特集】

いわき農林事務所・水産事務所 平成30年の6大ニュース!

平成30年も残りわずかとなりました。今年一年、いわき農林事務所・水産事務所では様々な出来事がありましたが、その中から「今年一番!」と思った6つのニュースをご紹介します!

その1 マコモダケ栽培への挑戦!! 「田んぼの学校」(5~12月)

5月号特集・以降随時連載

今年の「田んぼの学校」では、いわき市立菊田小学校5年生児童79人がマコモダケの栽培に挑戦しました。

これまでは、「田んぼの学校」=稲の栽培でしたが、小学校のあるいわき市南部の山田町では、マコモダケの栽培が10年ほど前から行われていたこともあり、「田んぼの学校」として初めて、マコモダケを栽培することとしました。

今までの「田んぼの学校」で取り扱ったことのない作物ということで、毎回の活動が当所職員も試行錯誤の連続で、地域の農家をはじめ住民の方々に色々とお教えてい



マコモダケたくさん採れました!

ただきながら児童とともに活動を進めていきました。

また、「生きもの調査」や、「田んぼの学校」を行う県内8校の小学校による合同発表会など新しい活動も行うことができ、四季を通して楽しく活動することができました。今年学んだことを活かし、来年度も児童がより楽しく学べる「田んぼの学校」にしていきたいと考えています。

(農村整備部)



ぬかるみも楽しみながら苗植えに挑戦!

5月以降連載している田んぼの学校レポートの最終回(閉校式・発表会)をP.10に掲載しています。



その2 首都圏で“常磐もの”の美味しさ発信!!

「福島鮮魚便」(6月~)

6月号掲載

6月から、首都圏の大手量販店5店舗で、県産水産物の常設販売コーナー設置の取組が始まりました。「福島鮮魚便」と銘打ち、高品質なヒラメ、カレイ等“常磐もの”を漁港水揚げから直送で店頭へ並び、専門スタッフがお客様と直接対話できる形で販売しています。大好評につき、10月には、首都圏2店舗のほか宮城県名取市の1店舗を加え、首都圏、東北で8店舗に拡大して取組を展開中です。県産水産物の品質と安全性を県外の消費者にPRし、流通拡大につなぐことが期待されます。(水産事務所)



(イオンスタイル品川シーサイド店の様子)

その3 いわきを「見る」だけでなく「体験する」ツアーへ!!

10月号特集

「日帰りで行く!!いわきの農業体験ツアー」(10月)

いわき農林事務所では、いわきの復興状況を「見て」もらう「モニターバスツアー」を昨年まで実施してきましたが、今年は、首都圏の大学生にさらに“いわきの農”を肌で感じてもらうため、



(大学生と市内の農家・シェフの方との写真撮影)

「体験」・「交流」をキーワードに「いわきの農業体験ツアー」としてリニューアルし、10月13日に実行しました。

稲刈りやトマト収穫体験、地元の農業者やシェフとの交流を通じて、いわきの食と農の魅力を首都圏の大学生に体感してもらうことができました。来年以降、さらに充実したツアーとなるようブラッシュアップを図ってまいります。(企画部)

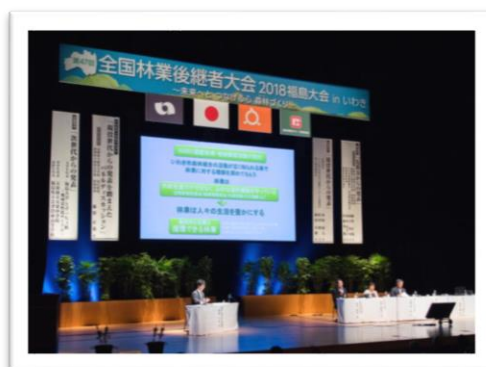
その4 全国の林業後継者がいわきに集結!!

6月号特集

「第47回全国林業後継者大会2018福島大会inいわき」(6月)

6月9日、「全国林業後継者大会」がいわきアリオスで開催され、県内外から約460名が参加しました。

「全国林業後継者大会」は、昭和45年に猪苗代町で開催された「全国林業後継者のつどい」が先駆けとなっており、第69回全国植樹祭の関連行事として、「未来へとつなげる心 森づくり」をテーマに開催しました。全国の林業後継者が一堂に会し、森林づくりへの先人の考えや担い手としての日頃の取組について意見を交わし、豊かな森林を次世代に継承する思いを全国に発信しています。



(全国林業後継者大会の一場面)

この大会の思いを継承し、森林・林業を支える担い手の育成・確保を行うために、林業労働者の雇用者である林業事業体の体質強化、ならびに新規就業者の就業環境の改善が進むよう支援してまいります。(森林林業部)

その5 いわきで様々な“GAP第1号”が誕生!!

通年連載(GAPコーナー)

平成30年は、いわき管内で新たに6件が認証GAPを取得し、管内における認証GAP取得件数は合わせて11件となりました(12/1時点)。特に、福島県立高校で初の認証GAP取得事例や、県内初のFGAP団体認証取得事例など、様々な“第1号”が誕生し、ますます管内のGAP取得に向けた機運が高まっています。

来年も農業者の皆様の経営改善及び安全安心な農林産物を提供することを支援するためにも、認証GAPの取得推進に力を入れています。(農業振興普及部)

(表) 平成30年におけるいわき管内の認証GAP取得状況

平成30年	出来事
3月	福島県立磐城農業高等学校(JGAP 品目:米〔粳・玄米〕) 県内高等学校で初めて認証GAPを取得!
	農事組合法人菊田の郷助川農園(FGAP 品目:トマト) いわき市管内におけるFGAP取得第1号!
	安島美光氏(JGAP 品目:米〔粳・玄米・精米〕)
4月	いわき小名浜菜園株式会社(ASIAGAP 品目:トマト・ミニトマト)
8月	株式会社JRとまとランドいわきファーム(FGAP 品目:野菜〔トマト・ミニトマト〕)
9月	JA福島さくらいわきいちご部会高設栽培研究会(FGAP 品目:野菜〔イチゴ〕) 県内で初めてFGAP団体認証を取得!いわき市内で初めての団体認証取得!



1月号掲載

その6 高校生がいわきの食材で魅せる!! 「第1回高校生レシピコンテスト」(1月)

いわき農林事務所の新たな取組として、「第1回高校生レシピコンテスト」を開催しました。「いわき市産トマト」をテーマにオリジナルレシピを募集し、書類審査を通過した6組の高校生が、1月の2次審査で調理実演を通して競い、料理部門とスイーツ部門、合わせて2つのグランプリ作品が誕生しました。グランプリ作品は、市内の飲食店にて期間限定で提供された他、複数企業の社員食堂でも提供されるなど、高校生のアイデアあふれるレシピの影響に手応えを感じる催しとなりました。(企画部)



(出場した高校生と審査員の皆様)

今年度も、第2回コンテストのレシピを募集しました。実食審査会についての情報はP.9をチェック!

平成30年は、これらのニュース以外にも、農林水産業、農山漁村の振興に向けた多くの取組を行い、当該ニュース各月号で情報発信してまいりました。

来年も引き続き、各所属間の連携はもちろんのこと、管内の農林漁業者の皆様のご協力をいただきながら、いわきの農林水産業のますますの発展のために取り組んでまいります。

本格的な冬期到来前に、安全パトロールを実施！

〔11月21日(水)〕

建設工事安全推進協議会主催による工事現場安全パトロールを、行政機関及び関係団体会員等40名の参加のもと実施しました。出発式で、家久来会長より「慣れ」や「思い込み」による基本的な安全確認を怠ることのないようにと挨拶があった後、南部・北部の2班に分かれ、各3現場にて現場事務所、標識類、防護柵の設置状況等を冬期に向けて点検しました。



橋脚を安全に作るための足場工の状況

反省検討会では、改善点として「休憩所の分煙」、「事務所分電盤の施錠」、「救急箱備品の消費期限確認・品数の見直し」等が挙げられました。



(改善点を議論する反省検討会の模様)

また、いわき労働基準監督署 三瓶安全衛生課長からの講評では、管内建設業現場では年末に事故が集中する傾向があり、工事監督時の現場区域内点検の重要性について指導を受けました。

今回検討した事項を課題として、参加者共々より一層工事の安全管理に努めてまいります。(総務部)

東京国際フォーラムで「ふくしま大交流フェスタ 2018」開催！〔12月9日(日)〕

今年で12回目を迎えた福島と東京をつなぐイベント「ふくしま大交流フェスタ」が東京国際フォーラムにて開催され、本県関係の出展者と1万2千人の来場者で大変賑わいました。



「IWAKI ふるさと誘致センター(電話0246-25-9151)」ブース。6次化商品の販売等で、「フラシティ」PRのためアロハシャツ着用です。

地元出展者の「IWAKI ふるさと誘致センター」のブースでは6次化商品等の販売、いわき市シティセールスの取組PR、移住・空き家相談が行われました。他にも、遠野高校生らによる「遠野和紙の紙漉き体験」ブースや「F's Kitchen のいわき満州黒豚のステーキ丼」ブースにも行列ができ、多くのお客様にいわきの魅力に触れて楽しんでいただくことができました。

(いわき地方振興局)



遠野高校生らによる「遠野和紙の紙漉き体験」ブース。紅葉を漉き込み自分だけのデザインで和紙を作ります。



ふくしまグルメコーナーでの「F's Kitchen」ブースと提供した「いわき満州黒豚のステーキ丼」。甘酸っぱい玉ねぎのシャリアピンソースとジューシーな黒豚肉が絶品です！





「いわき地方有害鳥獣被害防止対策研修会」を開催

〔11月21日(水)〕

市内三和町の渡戸高野多目的集会所において、モデル集落と集落ぐるみで電気柵を設置した地区の代表者等を対象に、イノシシによる農作物被害の防止対策に関する研修会を開催しました。

講師の合同会社東北野生動物保護管理センター 鈴木研究員から、イノシシのわなを使用した捕獲のポイント等について講演をいただき、当所からはイノシシの生態、いわき市からは電気柵設置等関連する補助事業、JA 全農福島からは被害防止対策資材について、それぞれ説明しました。



(イノシシの捕獲についての講演)



(箱わなの設置状況を確認)

また、現地ほ場において、モデル集落内に設置した箱わなの設置状況と、周囲のほ場を確認し、より高い防止効果を得られるポイントを確認しました。参加者からは「電気柵を張り直そう。」、「集落ぐるみの対策は重要だ。」との声が聞かれ、有意義な研修会となりました。

(農業振興普及部)

平成30年度福島県青年・女性漁業者交流大会

〔12月7日(金)〕

市内小名浜にて、福島県青年・女性漁業者交流大会が開催されました。漁業技術の向上や地域沿岸漁業の振興を目的に毎年開かれるもので、今年度はいわき市漁協の青壮年部2団体を含む、4団体で日頃の実践活動の成果を発表しました。

最優秀賞を受賞した相双漁協相馬原釜地区青壮年部底びき部会は、資源保護や地元水産物のPR、鮮度保持の船上箱詰めなどに取り組んだ活動が高く評価され、来年3月に東京都で開催される全国大会へ推薦されることとなりました。

(水産事務所)



(発表の様様)

【最優秀賞】

「明日に向かって網を曳け！底びき漁師が引っ張る漁業復興」
相双漁協相馬原釜地区青壮年部底びき部会

【優秀賞】

「勿来の親爺に教わった「釣り漁業」で取り戻した魚と誇り」
いわき市漁協青壮年部勿来支部

【優良賞】

「久之浜の未来のために 復興へのイベント取り組みについて」
いわき市漁協青壮年部久之浜支部

「街と海を川でつなげ 体験型イベントを通じ伝える漁業の現在」
相双漁協鹿島地区青壮年部

頑張るいわきの農業関係者リレーインタビュー！Vol.12

お客様とのコミュニケーションを大切に、花の魅力を伝えています。

下山田園芸 しもやまだよしひろ 下山田善裕さん

前回取材にご協力いただいた中村さんから紹介のあった、渡辺町で鉢物栽培に取り組む「下山田園芸」の下山田善裕さんにインタビューしました！

花のある暮らしをしませんか？

下山田さん：私は、渡辺町で両親、妹とともにシクラメン、ミニバラ等の鉢花の栽培をしています。特に力を入れているのは、ちょうど今の時期に旬を迎えている「ランンキュラス」という花です。



下山田園芸の「ランンキュラス」

幾重にも重なった柔らかい花びらが特徴で、毎年12月の頭から3月にかけて出荷します。下山田園芸では、基本的には関東の市場に出荷していますが、市内では、JA 福島さくらの直売所「ファーマーズマーケットいがっぺ」（市内後田町）などでお買い求めいただけます。



インタビューにご協力いただいた下山田 善裕さん（32）

大切な家族や仲間と一緒に、農業に取り組む

下山田さん：農家の長男として、子どもの頃から後を継ぐことを決めていたので、北海道大学の農学部・大学院に進学した後、平成23年に就農しました。実際に栽培に携わったのは就農した時が初めてだったので、父の指導を受けながらノウハウを学びました。今では正式に下山田園芸の代表となり、家族と協力して取り組んでいます。

また、いわき花き鉢物研究会に所属して市内の花き農家の方とPR活動をしたり、いわき農業青年クラブにも所属して同年代の農業者と交流したりと、他の農家の方との交流も大切にしています。先月号のリレーインタビューの中村彰宏さんとは小学校からのつきあいで、今でも同じ渡辺町の農家として仲良くしてもらっています。

若者に花の魅力を知ってもらうために！

下山田さん：私は、お客さんと顔を合わせて話ができる直売活動が大好きで、よく「いがっぺ」で活動をしています。今年の春に、「カンパニユラ」と



直売活動をする下山田さん

という花を販売した時には、花の特徴や育て方を紹介するPOPを手作りしてみました。すると、それまでほとんど売れていなかった花が、補充が間に合わないほどのペースで売れるようになったんです。その花を初めて見るといってお客さんもいらっしゃるので、お客さんに花の魅力をいかに伝えていくか、販売方法を工夫することの大切さを実感した出来事でした。



「カンパニユラ」の花

下山田さん：残念なことですが、鉢花の業界は年々縮小しているという現実があります。その原因の一つには、「花は高価」というイメージが強く、若い人があまり花を買わなくなった、ということがあるようです。そのような中、直売活動では、お客さんと顔を合わせて話ができて、花を通常より安価でご提供できます。地道に直売活動が続けて花の魅力を伝えることが大切だと思っていますので、これからも、自分なりに工夫をしながら積極的に活動を続けたいと思います！



下山田園芸

所在地：いわき市渡辺町上釜戸字川籠石 76

Mail : yamarhimo421@yahoo.co.jp

主な商品



「カランコエ」

9月～10月

「ラナンキュラス」

12月～3月



「ミニバラ」

4月下旬～5月中旬

「シクラメン」

11月～12月



トピック1

ふくしま緑の百景「新舞子・仁井田浦のマツ」の石碑が復活しました！



この石碑は、旧仁井田キャンプ場の松林に設置されていました。しかし、東日本大震災の津波被害により松林が消失したうえに、県道豊間四倉線の復旧工事（東舞子橋の架替えによる高盛土）に伴い、移設が必要になっていました。

このたび、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会が関係者の協力のもと、新舞子ビーチの多機能トイレ駐車場北側の松林に設置し直しました。

いわき市内では、海岸防災林が平成27年度までに19ha造成されるとともに、市民や企業のボランティア活動等での植樹も5.6ha行われており、その後の保育も適切に行われていて、順調に成長してきています。

新舞子浜の松林は、磐城平藩の藩主内藤政長が1600年代に防風・防潮のために植栽したのが始まりとされています。

この石碑も、皆さんとともに松林の成長を末永く見守っていくことでしょう。（森林林業部）

「ふくしま緑の百景」は、国際森林年の記念として、昭和60年に福島民報社と福島県緑化推進委員会が主唱して県民投票を行い、投票候補地854箇所から選定されました。ふるさとの森や樹を見直し、その美しさを守り育てることを目的としています。





お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（平成30年11月分）

□ 農林畜産物の検査結果

平成30年11月の農林畜産物モニタリングでは、検査した16品目33検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。

内訳は（表1）のとおりです。また出荷制限状況は（表2）のとおりです。 （企画部）

（表1）放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

ニンジン 1、ユズ 2、シュンギク 1、キウイフルーツ 1、ハウレンソウ 1、イチゴ（施設）2、オリーブ（実）2、フンタン（ザボン）1、サトイモ 1、トマト（施設）1、大豆 1、くるみ 1、菌床しいたけ（施設）7、菌床なめこ（施設）1、牛肉 6、原乳 4

（表2）出荷制限および出荷自粛品目（平成30年12月27日現在）

制限、自粛	区 分	品 目
出荷制限	山 菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、わらび（野生のものに限る）*、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ（摂取も制限）
出荷自粛	山 菜	さんしょう（野生のものに限る）

※わらび（栽培）は該当生産者6名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

□ 海産魚介類の検査結果

平成30年11月の水産物モニタリング検査では、615検体の魚介類を検査し、放射性セシウムの基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。

放射性セシウムの検出限界値未満の割合は、平成30年11月には99.8%となっています。12月18日現在の出荷制限等指示魚種は表の7種類になっています。 （水産事務所）

（表）海産魚介類に関する国の出荷制限等指示

ウミタナゴ	サクラマス	ムラソイ
カサゴ	ヌマガレイ	ピノスガイ
クロダイ		

平成30年12月18日現在

農業用ハウスをご利用の皆様へ

本格的な降雪に備え、使用しないハウスのビニールを事前に除去するなどして、農業用施設被害の未然防止に取り組みましょう。

また、平成31年1月から、園芸施設共済の補償内容が拡充されます。災害に備え、園芸施設共済・収入保険へ加入しましょう。

詳細につきましては、いわき農林事務所のHPに下記のとおり掲載しましたので、そちらをご確認ください。 （農業振興普及部）

いわき農林事務所 HP 農業振興普及部トップページ

（URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/iwnorin-n-top.html>）

「お知らせ」

- ・「農業用施設等の雪害防止技術対策」
- ・「農業用ハウスをご利用の皆様へ（災害に強い施設園芸づくりに向けて）」

イベント

「新規栽培セミナー いちご・ねぎ・なし」受講者募集中!

「いちご」「ねぎ」「なし」の栽培に興味をお持ちの方を対象に、新規栽培セミナーを実施します。各品目の栽培技術から販売状況、各団体の営農支援まで学べる内容となっています(農場視察もアリ!)。定年後に就農を考えている方、他産業で働いている方もご参加いただけます。

- 【いちご】日 時：平成31年1月21日(月)
13:30~16:00
場 所：JA 福島さくら夏井支店
- 【ね ぎ】日 時：平成31年1月21日(月)
9:30~12:00
場 所：JA 福島さくら夏井支店
- 【な し】日 時：平成31年1月25日(金)
9:30~12:00
場 所：上平窪集会所

主 催：新たなふくしまの未来を拓く
園芸振興いわき地方推進会議
問い合わせ先：いわき農林事務所 農業振興普及部
TEL：0246-24-6160



新規栽培セミナー

いちご
1月21日(月)
13:30~16:00
集合:JA福島さくら夏井支店
(いわき市平高田日字中田45)

ねぎ
1月21日(月)
9:30~12:00
集合:JA福島さくら夏井支店
(いわき市平高田日字中田45)

なし
1月25日(金)
9:30~12:00
集合:上平窪集会所
(いわき市上平窪前釜88-2)

サンシャインの産み分けを続けるいわき市で、農業をはじめませんか?
 いわき市内にて、「いちご」「ねぎ」「なし」の新規栽培セミナーを開催します! ※参加無料、定員15名
内容 栽培技術、生産・販売状況、各団体(JA、市、県)による営農支援等(農場視察あり)
対象 各品目の栽培に興味のある方(定年後の就農希望、他産業で働いている、という方も歓迎)
申込 申込書を記入して、郵送またはFAX、もしくは、簡易書またはEメールで参加の旨をお伝えください。
 主催:新たなふくしまの未来を拓く園芸振興いわき地方推進会議 事務局:福島県いわき農林事務所
 TEL: 0246-24-6160, FAX: 0246-24-6196, Email: shinkouhokuyuu.af07@pref.fukushima.lg.jp
 (キトリキセ)

新規栽培セミナー申込書(印刷:1月9日) 送付先:〒970-0026 いわき市平高田15 福島県いわき農林事務所農業振興普及部

品目(複数参加可)	名前(ふりがなも)	年齢	住所	電話番号

第2回高校生レシピコンテスト 2次(実食)審査会

- 日 時 平成31年1月27日(日) 10:00~
- 会 場 常磐共同ガス(株)ガスワンキッチンスタジオ「ステラ」(いわき市常磐湯本町日渡74-7)
- 主 催 福島県いわき農林事務所

昨年度に引き続き第2回目の開催となる「高校生レシピコンテスト」。市内の高校生を対象に、今回は「いわき市産のトマト・きのこ・ねぎ」をテーマとしたレシピを募集し、アイデアあふれる様々なレシピをご応募いただきました。厳正な1次審査(書類審査)の結果、2次審査会(実食審査)へ進む5組の方々が決定しました。いわきの高校生によるいわき産食材への情熱を見たい!という方は、審査会場までお越しください。

第4回「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーン

- 日 時 平成31年2月2日(土) 10:00~(試食・配布用農産物がなくなり次第終了)
- 会 場 ヨークベニマル新谷川瀬店 青果売場内(いわき市平谷川瀬3丁目21-10)
- 主 催 福島県いわき農林事務所

県産農産物のおいしさと安全性をPRするため、今年度4回目のキャンペーンを実施します。今回は、FGAP認証を取得したいわき市産いちごの試食を行います。さらに、アンケートにご協力いただいた方には、いわき市産トマト及びレタスをプレゼントいたしますので、ぜひ足をお運びください。



最終回!



閉校式・合同発表会「実りの収穫祭」を実施しました!

12月4日(火)・7日(金)

12月4日(火)、いわき市立菊田小学校5年生児童79人がマコモダケの栽培を通して取り組んできた「田んぼの学校」の閉校式を行いました。

まず、今まで「田んぼの学校」に協力してくださった地元応援団や、土地改良区の皆さんが見守る中、これまでの活動を通して学んだことや感想を児童達が発表し、活動のまとめを行いました。堂々とした児童達の姿にこの1年の成長が感じられました。

その後、田んぼの学校長から児童達へ修了証書が授与され、今年度の「田んぼの学校」が閉校しました。



「田んぼの学校」閉校式

「田んぼの学校」の校長先生から修了証書をいただきました!

発表会とても緊張しました!



合同発表会「実りの収穫祭」

同じ週の12月7日(金)には、県内で「田んぼの学校・畑の学校」に取り組んでいる小学校8校が福島県農業総合センターに集まり、それぞれの活動を発表する「実りの収穫祭」が行われました。

マコモダケの栽培を通じた活動は、菊田小学校独自の取組のため、他校の児童は発表を興味深く聞いていました。今まで学んだ事を分かりやすく説明した、すばらしい発表でした! (農村整備部)

トピック2

「井上水土里保全会」が多面的活動で優秀賞(県内)を受賞

農業・農村の持つ自然環境や景観などの多面的機能の保全・向上を行う、「多面的機能支払交付金」の活動を行っている組織は、県内に1416団体、いわき市には56団体あります。

これらの中から模範的・特徴的な取組を行っている団体を表彰する優良活動表彰があり、いわき市の「井上水土里保全会」(錦町大島)は、次席にあたる「福島民報社賞」を受賞しました。



(田んぼアート)

同保全会は、休耕田の維持管理や水路等の基本的な活動にも積極的に取り組んでいる他、NPO法人や農業高校と連携して、休耕田を活用した「田んぼアート」に毎年取り組むなど、多面的活動の意義を広く周知していることが評価されました。



(表彰式)

左から2・3人目が井上水土里保全会

12月1日(土)に二本松市で開催された「福島県農村地域振興セミナー2018」の場において、同保全会は最優秀賞である福島県知事賞を受賞した団体などとともに表彰式に臨みました。

同保全会は、これからも活動を通じて農村地域のみならず、地域社会の維持・向上に寄与してくれるものと期待しています。(農村整備部)

GAP コーナー

GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

JA 福島さくらいわき梨部会 GAP 取得説明会を開催しました！

11月14日(水)、JAいわき梨選果場にて、JA福島さくらいわき梨部会員を対象にGAP取得の説明会を開催しました。多くのナシ生産者にGAPの認証を受けてもらうため開催したもので、当日は梨部会員37名が出席しました。

当所からは、GAPの概要、取得までの流れ、補助事業などについて説明しました。参加者からは、初め「GAPについてよく分からない。」「費用がかかるのではないか。」などの声がありましたが、説明会を通してGAPについて理解し、興味を持った生産者も見受けられました。さらに理解を深めるため、12月13日(木)には県北地区のGAP認証取得農場の視察をしました。今後もJAと連携を密に、認証GAPの取得推進に取り組んでまいります。



(説明会の様子)

(農業振興普及部)

ぜひご参加ください！

☆いわき地方認証GAP研修会(関係法令研修)を開催します☆

- 日 時：平成31年1月22日(火) 10:00~14:15
- 場 所：福島さくら農業協同組合いわき地区本部 2階大会議室(いわき市自由ヶ丘39-2)
- お申し込み・お問い合わせ
農業振興普及部 経営支援課(24-6161)まで電話にてご連絡願います。

農業に関連する法律、特に景品表示法、計量法、農薬取締法、消防法について農業者の皆様にご理解いただくため、標記研修会を以下のとおり開催いたします。法令遵守した農業を行うことは、安全安心な農林産物を提供するためには重要なことです。ぜひ一度参加して、ご自分の農業生産工程管理を見直してみませんか？

トピック3

旬の水揚げ ~マダコ~

沼之内魚市場でマダコの水揚げが最盛期を迎えています。常磐沖で水揚げされるマダコの主群は3~6月に茨城県以南で産卵し、ふ化した稚ダコが仙台湾まで北上して成長します。10月以降に再び産卵のために南下し、本県沖では11~1月にカゴ漁業で水揚げされる重要魚種となります。

11月上旬には週0.6トン程度の水揚げが、12月上旬には南下が進んだと見られ、多くの漁業者はカゴ漁業に切り替え、週3.3トンまで増加しました。

この時期のマダコはお正月向けの商材として需要が高く、12月の平均単価も、震災前4カ年(12月)が650~950円/kgに対して、今漁期は1,100~1,200円/kgと高値で推移し、この状況は年末にかけて続く見込みです。



(沼之内魚市場に並ぶマダコ)

(水産事務所)

こだわりと美味しさがつまった
いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

ワンダーファームでは、スバリソートハワイアンズと共同開発した「とまと味噌」を販売しています。いわき市産ミニトマト「フラガール」の爽やかな酸味と味噌のまるやかなさが一体となった商品で、ねぎやしょうがの香味が、味をより一層引き立てています。意外な組み合わせに感じますが、一度食べたらずどもから大人までやみつきになる一品です。ワンダーファーム、ハワイアンズの両施設のほか、ネットショッピングでお買い求めいただけます。

また、生食用の大玉トマトを贅沢に使用した食塩無添加の100%トマトジュース「WONDER RED(ワンダーレッド)」が95g入りのお手頃サイズで登場しました。ギフトセットもあり、贈り物としてもおすすめです。





とまと味噌

- 販売価格/581円(税込)
- 内容量/130g

パスタやピザのソースに、ごはんやお豆腐にのせて、マヨネーズと合わせてディップソースにと楽しみ方はたくさん!



WONDER RED 95

- 販売価格/213円(税込)
- 内容量/95g

太陽の光をたっぷり浴びて美味しく育ったトマトの濃厚で深い味わいをお楽しみください。



株式会社ワンダーファーム

●いわき市四倉町中島字広町1 ●TEL.0246-85-5105
●HP <http://www.wonder-farm.co.jp>



編集後記

先日、いわき市内で“かぼす”栽培に取り組む方のところで、収穫のお手伝いをしてきました。その場でかぼすを切っていたのですが、果汁たっぷりで爽やかな香りがたまりません！寒さの厳しい今の季節は、蜂蜜と合わせてホットドリンクにしたり、お鍋のアクセントにしたり・・・工夫次第でどんな風にも楽しめる、正に万能なフルーツですね。

さて、特集で取り上げているとおり、この一年間、様々な取組にチャレンジしてまいりましたが、皆様のご理解とご協力をいただいたからこそ、実現できたことと思っております。職員一同、心より感謝申し上げます。それでは良いお年を！

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース